

科学技術に関する国際関係事業について



科学技術・学術政策局 参事官（国際戦略担当） 付
令和3年4月23日



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

科学技術に関する国際関係事業について



文部科学省

- 我が国の国際競争力を維持・強化し、国際社会における存在感を発揮するためには、**科学技術の戦略的な国際展開**が重要。
- その中でも、国際活動の推進のため、文部科学省においては、**国際共同研究の推進、グローバルに活躍する若手研究者等の育成・確保、国際ネットワーク強化、大学・研究機関等の国際化、拠点形成**に重点的に取り組んでいる。

I 国際共同研究の推進

<課題解決型イノベーションの実現に貢献>

JST
AMED
戦略的国際共同研究プログラム(SICORP)
国際協力によるイノベーション創出のため相手国との共同公募を行い、国際共同研究を強力に推進

<科学技術外交>

JST
AMED
地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS)
我が国の優れた科学技術と政府開発援助(ODA)との連携により、地球規模課題の解決と将来的な社会実装に向けた国際共同研究を推進

AMED
アフリカにおける顧みられない熱帯病(NTDs)対策のための国際共同研究プログラム
我が国とアフリカ諸国の研究機関において、現地でのフィールドワークを通じ、NTDsの予防、診断創薬、治療法の開発等を実施

<優れた研究成果創出のための国際共同研究>

JST
戦略的創造研究推進事業(CREST)
令和3年度は3つの研究領域において、フランスANRとの日仏国際共同研究の公募を実施。

内局 科学研究費助成事業

国際共同研究加速基金により、国際共同研究の基盤の構築や更なる強化、国際的に活躍できる研究者の養成に資する研究支援等を推進する。

JSPS 国際共同研究事業

学術研究活動のグローバルな展開に対応するため諸外国学術振興機関等との協力に基づくマッチングファンド等、国際共同研究を推進

AMED Interstellar Initiative

革新的新規シーズ創出を目指して日本の若手研究者をリーダーとした国際・学際的チームを形成し、未知の課題解決への取組を支援

II グローバルに活躍する若手研究者等の人材育成・確保、国際ネットワーク強化

<海外研さん機会の拡充>

JSPS
海外特別研究員事業
優れた若手研究者が海外の大学等研究機関において長期間(2年間)研究に専念できるよう支援

JSPS
若手研究者海外挑戦プログラム
将来国際的な活躍が期待できる博士後期課程学生等を育成するため短期間(3か月~1年)の海外の研究者と共同して研究に従事する機会を提供

JSPS
国際競争力強化研究員事業
若手研究者の世界トップクラスの大学等における挑戦的な研究や、国際的なネットワーク形成を支援

<国際ネットワークの強化>

JSPS
外国人研究者招へい・ネットワーク強化
(※外国人特別研究員を含む)

海外から優秀な人材を我が国に呼び込むため、分野や国籍を問わず優秀な外国人研究者を大学・研究機関等に招へい

JST 国際青少年サイエンス交流事業

海外の優秀な科学技術イノベーション人材の獲得に資するため、海外の青少年との科学技術交流プログラムを実施

JSPS 二国間交流事業等

諸外国学術振興機関との覚書等に基づく共同研究やセミナー等の研究者交流を実施

JSPS 若手研究者研鑽シンポジウム事業

国際経験を積む機会の提供により次世代のリーダーとなる若手研究者の育成や国際ネットワークを拡大・強化

JST
JSPS
国際科学技術協力・学術国際交流の基盤の強化
関係法人における海外への情報発信、諸外国の情報の収集や研究者ネットワーク強化に関する取組等、国際科学技術協力及び学術国際交流を推進するための基盤の強化を実施

III 大学・研究機関等の国際化、拠点形成

<国際的な研究拠点の形成>

内局
世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)
大学等への集中的な支援を通じてシステム改革等の自主的な取組を促すことにより、高度に国際化された研究環境と世界トップレベルの研究水準を誇る「目に見える国際頭脳循環拠点」を充実・強化

JSPS
研究拠点形成事業
(Core-to-Core Program)

先端的かつ重要な研究課題、またはアジア・アフリカ地域における諸課題解決に資する研究課題について、我が国と世界各国の研究教育拠点機関をつなぐ持続的な協力関係を構築

<大学の国際化・留学生交流>

※参考：高等教育局の事業

● スーパーグローバル大学創成支援事業(SGU)

我が国の高等教育の国際競争力の向上とグローバル人材の育成を図るため、国際化を徹底して進める大学を支援

● 大学の世界展開力強化事業

大学教育のグローバル展開力の強化を図るため、我が国にとって戦略的に重要な国・地域との間で、質保証を伴った学生交流等を推進する国際教育連携やネットワーク形成の取組を支援

● 大学等の留学生交流の支援等

日本人留学生の倍増を目指すため、「トビタテ！留学JAPAN」の活動を推進や、学位取得目的の長期留学支援等により、意欲と能力のある若者の海外留学を支援

● 優秀な外国人留学生の戦略的な受入れ

海外での日本留学の魅力発信を強化するとともに、外国人留学生の国内就職に資する取組等を支援する等により、優秀な外国人留学生の我が国への受入れを促進

戦略的国際共同研究プログラム(SICORP)

【事業の目的・目標】 国際協力によるイノベーション創出のため、多様な研究内容・体制に対応するタイプを設け、相手国との合意に基づく国際共同研究を強力に推進する。相手国との相互裨益を原則としつつも、我が国の課題解決型イノベーションの実現に貢献することを目指す。

<協力国・分野(令和3年4月時点)> (※JSTの例)

先進国等

新興国

開発途上国

【二国間協力(国際産学連携)】

- ・ドイツ(フotonクス)
- ・スウェーデン(高齢化社会)

【二国間協力】

- 米国(デジタルサイエンス)・英国(海洋研究)・EU(防災初期対応、高度バイオ燃料)
- ・スイス(水素技術)・ロシア(自然利用、エネルギー資源)
- ・イスラエル(ICT)

【多国間協力】

- ・CONCERT-Japan
欧州諸国(スマート水管理、ICT等)
- ・V4
チェコ、スロバキア、ハンガリー、
ポーランド(先端材料)

【多国間協力】

- ・AJ-CORE
南アフリカ(環境科学)

【多国間協力】

- ・e-ASIA
(環境・低炭素・防災・先端融合、COVID-19対策等)

【国際共同研究拠点】

- ・中国(環境・エネルギー)
- ・インド(情報・通信技術)
- ・ASEAN(環境・エネルギー・生物資源、防災)

地球規模課題対応国際科学技術協カプログラム(SATREPS)

JST

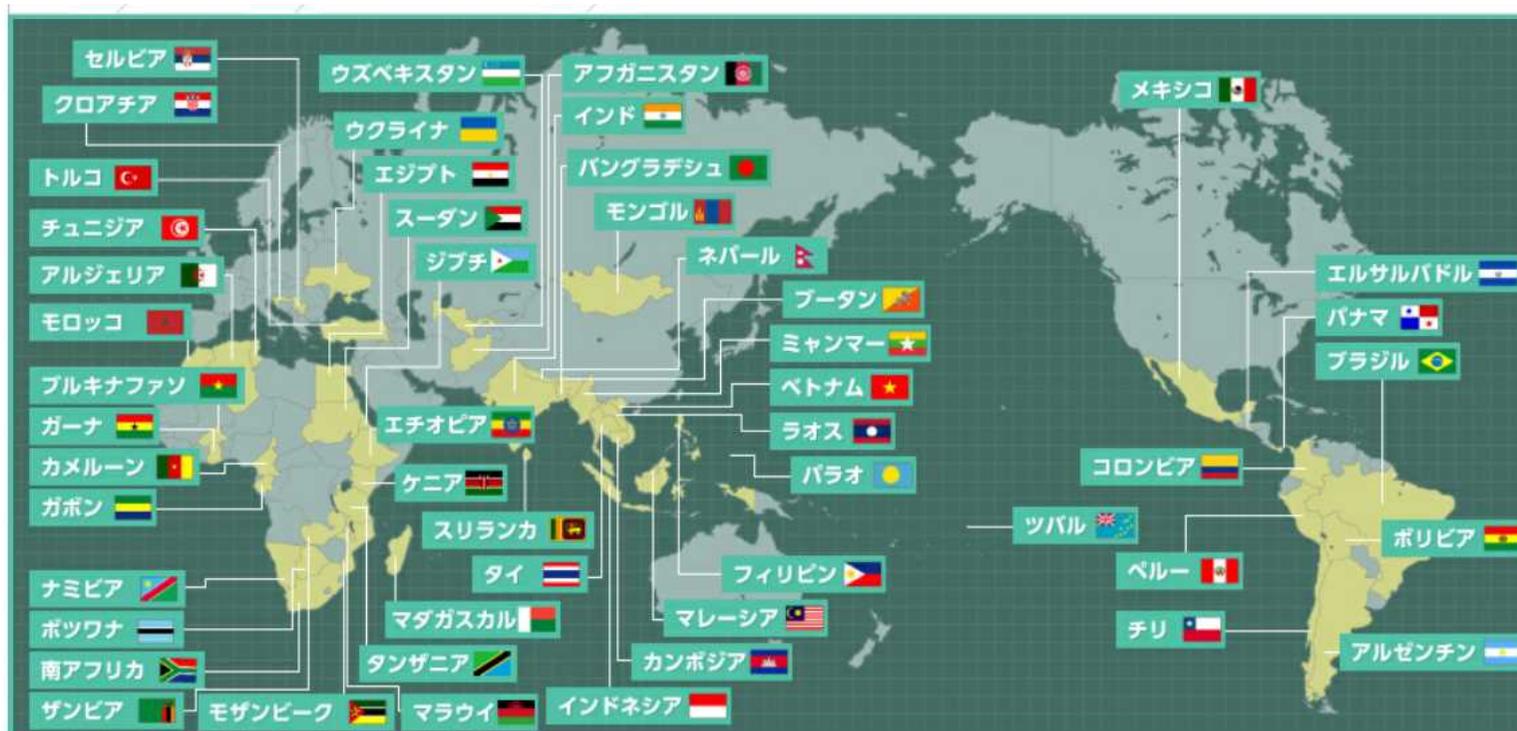
AMED

JICA



文部科学省

【事業の目的・概要】我が国の優れた科学技術と政府開発援助(ODA)との連携により、開発途上国のニーズに基づき、環境・エネルギー分野、生物資源分野、防災分野等における地球規模課題の解決と将来的な社会実装につながる国際共同研究を推進する。出口ステークホルダーとの連携・協働を促すスキームを活用し、SDGs達成に向け研究成果の社会実装を加速させる。



(2020年6月時点)

地域	実施国数	プロジェクト数
アジア	14カ国	84
アフリカ	21カ国	41
中南米	9カ国	23
その他	8カ国	9

SATREPS継続課題一覧 環境・エネルギー（環境）分野



文部科学省

※2015年度採択課題は元々5年間(2020年度)で終了予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、全分野で1年延長されました。

採択年度	課題名	研究代表者	所属	相手国	研究期間
2020	アラル海地域における水利用効率と塩害の制御に向けた気候にレジリエントな革新的技術開発	田中 賢治	京都大学	ウズベキスタン	5年間
	アンデスアマゾンにおける山地森林生態系保全のための統合型森林管理システムの構築	平田 泰雅	森林研究・整備機構	ペルー	5年間
2019	東南アジア海域における海洋プラスチック汚染研究の拠点形成	磯辺 篤彦	九州大学	タイ	5年間
	サラワク州の保護区における熱帯雨林の生物多様性多目的利用のための活用システム開発	市岡 孝朗	京都大学	マレーシア	5年間
	マラウイ湖国立公園における統合自然資源管理に基づく持続可能な地域開発モデル構築	佐藤 哲	愛媛大学	マラウイ	5年間
2018	オイルパーム農園の持続的土地利用と再生を目指したオイルパーム古木への高付加価値化技術の開発	小杉 昭彦	国際農林水産業研究センター	マレーシア	5年間
	ジブチにおける広域緑化ポテンシャル評価に基づいた発展的・持続可能水資源管理技術確立に関する研究	島田 沢彦	東京農業大学	ジブチ	5年間
2017	ベトナムにおける建設廃棄物の適正管理と建廃リサイクル資材を活用した環境浄化及びインフラ整備技術の開発	川本 健	埼玉大学	ベトナム	5年間
	在来知と生態学的手法の統合による革新的な森林資源マネジメントの共創	安岡 宏和	京都大学	カメルーン	5年間
2016	砂漠化対処に向けた次世代型「持続可能な土地管理(SLM)」フレームワークの開発	恒川 篤史	鳥取大学	エチオピア	5年間
	コーラル・トライアングルにおけるブルーカーボン生態系とその多面的サービスの包括的評価と保全戦略	灘岡 和夫	東京工業大学	フィリピン／インドネシア	5年間
	チェルノブイリ災害後の環境管理支援技術の確立	難波 謙二	福島大学	ウクライナ	5年間
	食料安全保障を目指した気候変動適応策としての農業保険における損害評価手法の構築と社会実装	本郷 千春	千葉大学	インドネシア	5年間
2015	ザンビアにおける鉛汚染のメカニズムの解明と健康・経済リスク評価手法及び予防・修復技術の開発	石塚 真由美	北海道大学	ザンビア	6年間 (1年延長)
	タイ国における統合的な気候変動適応戦略の共創推進に関する研究	沖 大幹	東京大学	タイ	6年間 (1年延長)
	トンレサップ湖における環境保全基盤の構築	吉村 千洋	東京工業大学	カンボジア	6年間 (1年延長)

SATREPS継続課題一覧環境・エネルギー（低炭素）分野



文部科学省

採択年度	課題名	研究代表者	所属	相手国	研究期間
2020	脱炭素社会に向けた炭素塩化を利用したカーボンリサイクルシステムの開発	飯塚 淳	東北大学	南アフリカ	5年間
	生物循環グリーン(BCG)経済実現に向けたウキクサー共存微生物資源価値の包括的開拓	森川 正章	北海道大学	タイ	5年間
2019	パリ協定による2030年目標に向けた高温多湿気候下のインドネシアにおける低炭素アフォーダブル集合住宅の開発	久保田 徹	広島大学	インドネシア	5年間
	東アフリカ大地溝帯に発達する地熱系の最適開発のための包括的ソリューション	藤光 康宏	九州大学	ケニア	5年間
2018	マレーシアにおける革新的な海洋温度差発電(OTEC)の開発による低炭素社会のための持続可能なエネルギーシステムの構築	池上 康之	佐賀大学	マレーシア	5年間
	地方電化及び副産物の付加価値化を目指した作物残渣からの革新的油脂抽出技術の開発と普及	佐古 猛	静岡大学	タンザニア	5年間
2017	熱発光地熱探査法による地熱探査と地熱貯留層の統合評価システム	土屋 範芳	東北大学	エルサルバドル	5年間
	Thailand4.0を実現するスマート交通戦略	林 良嗣	中部大学	タイ	5年間
2016	バイオマス・廃棄物資源のスーパークリーンバイオ燃料への触媒転換技術の開発	椿 範立	富山大学	タイ	5年間
	マルチモーダル地域交通状況のセンシング、ネットワークングとビッグデータ解析に基づくエネルギー低炭素社会実現を目指した新興国におけるスマートシティの構築	坪井 務	名古屋電気工業株式会社	インド	5年間
2015	熱帯荒廃草原の植生回復によるバイオマスエネルギーとマテリアル生産	梅澤 俊明	京都大学	インドネシア	6年間 (1年延長)
	水処理システムと湿式抽出法による藻類の高効率燃料化の融合と実用化	神田 英輝	名古屋大学	南アフリカ	6年間 (1年延長)

SATREPS継続課題一覧 生物資源分野



文部科学省

採択年度	課題名	研究代表者	所属	相手国	研究期間
2020	ナイルの源流エチオピア・タナ湖で過剰繁茂する水草バイオマスの管理手法と有効利用プロセスの確立	佐藤 伸二郎	創価大学	エチオピア	5年間
	ゴムノキのPestalotiopsis菌広域感染を防止するための多角的駆除	松井 南	理化学研究所	インドネシア	5年間
	難防除病害管理技術の創出によるバナナ・カカオの持続的生産体制の確立	渡辺 京子	玉川大学	フィリピン	5年間
2019	遊牧民伝承に基づくモンゴル草原植物資源の有効活用による草地回復	浅見 忠男	東京大学	モンゴル	5年間
	高栄養価作物キヌアのレジリエンス強化生産技術の開発と普及	藤田 泰成	国際農林水産業研究センター	ボリビア	5年間
	世界の台所を目指すタイにおける家畜生産と食品安全に関する新技術導入による畜産革命の推進	三澤 尚明	宮崎大学	タイ	5年間
2018	スーダンおよびサブサハラアフリカの乾燥・高温農業生態系において持続的にコムギを生産するための革新的な気候変動耐性技術の開発	辻本 壽	鳥取大学	スーダン	5年間
	世界戦略魚の作出を目指したタイ原産魚介類の家魚化と養魚法の構築	廣野 育生	東京海洋大学	タイ	5年間
2017	チリにおける持続可能な沿岸漁業及び養殖に資する赤潮早期予測システムの構築と運用	丸山 史人	広島大学	チリ	5年間
	ミャンマーにおけるイネゲノム育種システム強化	吉村 淳	九州大学	ミャンマー	5年間
2016	ストライガ防除による食料安全保障と貧困克服	杉本 幸裕	神戸大学	スーダン	5年間
	肥沃度センシング技術と養分欠乏耐性系統の開発を統合したアフリカ稲作における養分利用効率の飛躍的向上	辻本 泰弘	国際農林水産業研究センター	マダガスカル	5年間
	ブルキナファソ産リン鉱石を用いた施肥栽培促進モデルの構築	南雲 不二男	国際農林水産業研究センター	ブルキナファソ	5年間
	マリカルチャビッグデータの生成・分析による水産資源の持続可能な生産と安定供給の実現	和田 雅昭	公立はこだて未来大学	インドネシア	5年間
2015	エビデンスに基づく乾燥地生物資源シーズ開発による新産業育成研究	磯田 博子	筑波大学	チュニジア／モロッコ	6年間 (1年延長)
	生物遺伝資源と分子遺伝学を利用した養蚕研究基盤構築	亀田 恒徳	農業・食品産業技術総合研究機構	ケニア	6年間 (1年延長)
	ベトナム、カンボジア、タイにおけるキャッサバの侵入病害虫対策に基づく持続的生産システムの開発と普及	高須 啓志	九州大学	ベトナム／カンボジア／タイ	6年間 (1年延長)
	微細藻類の大量培養技術の確立による持続可能な熱帯水産資源生産システムの構築	戸田 龍樹	創価大学	マレーシア	6年間 (1年延長)

SATREPS継続課題一覧 防災分野



文部科学省

採択年度	課題名	研究代表者	所属	相手国	研究期間
2020	地震直後におけるリマ市内インフラ被災程度の予測・観測のための統合型エキスパートシステムの開発	楠 浩一	東京大学	ペルー	5年間
	タイ国における自然災害リスクを考慮に入れたインフラマネジメント技術の開発	佐藤 靖彦	早稲田大学	タイ	5年間
	ミャンマーの都市部における災害への備えのための定量的かつ総合的な地震リスク評価	松島 信一	京都大学	ミャンマー	5年間
2019	気候変動下での持続的な地域経済発展への政策立案のためのハイブリッド型水災害リスク評価の活用	大原 美保	土木研究所	フィリピン	5年間
	スリランカにおける降雨による高速長距離土砂流動災害の早期警戒技術の開発	小長井 一男	国際斜面災害研究機構	スリランカ	5年間
2018	特殊土地盤上道路災害低減に向けた植物由来の土地改良材の開発と運用モデル	木村 亮	京都大学	エチオピア	5年間
2017	産業集積地におけるArea-BCMの構築を通じた地域レジリエンスの強化	渡辺 研司	名古屋工業大学	タイ	5年間
2016	ブータンにおける組積造建築の地震リスク評価と減災技術の開発	青木 孝義	名古屋市立大学	ブータン	5年間
	フィリピンにおける極端気象の監視・情報提供システムの開発	高橋 幸弘	北海道大学	フィリピン	5年間
2015	メキシコ沿岸部の巨大地震・津波災害の軽減に向けた総合的研究	伊藤 喜宏	京都大学	メキシコ	6年間 (1年延長)
	ネパールヒマラヤ巨大地震とその災害軽減の総合研究	瀬瀬 一起	東京大学	ネパール	6年間 (1年延長)
	都市の急激な高密度化に伴う災害脆弱性を克服する技術開発と都市政策への戦略的展開プロジェクト	中埜 良昭	東京大学	バングラデシュ	6年間 (1年延長)

SATREPS継続課題一覧 感染症分野



文部科学省

採択年度	研究開発課題名	研究代表者	所属	相手国	研究期間
2020	ミャンマーにおける革新的AMRサーベイランスシステムの構築とAMR診断技術の開発研究	切替 照雄	順天堂大学	ミャンマー	5年間
	感染症創薬の実現に向けた薬剤の至適化と前臨床試験の確立	野崎 智義	東京大学	インドネシア、マレーシア	5年間
2019	マラリアのない社会の持続を目指したコミュニティ主導型統合的戦略のための分野融合プロジェクト	金子 明	大阪市立大学	ケニア	5年間
	結核と鼻疽の制圧プロジェクト	木村 享史	北海道大学	モンゴル	5年間
2018	ベトナムにおける治療成功維持のための”bench-to-bedside system”構築と新規HIV-1感染阻止プロジェクト	岡 慎一	国立国際医療研究センター	ベトナム	5年間
	アフリカにおけるウイルス性人獣共通感染症の疫学に関する研究	高田 礼人	北海道大学	ザンビア、コンゴ民	5年間
2017	シャーガス病制圧のための統合的研究開発	嶋田 淳子	群馬大学	エルサルバドル	5年間
	フィリピンにおける狂犬病排除に向けたワンヘルス・アプローチ予防・治療ネットワークモデル構築	西園 晃	大分大学	フィリピン	5年間
2016	ブラジルと日本の薬剤耐性を含む真菌感染症診断に関する研究とリファレンス協力体制強化	渡邊 哲	千葉大学	ブラジル	5年間
2015	ガーナにおける感染症サーベイランス体制強化とコレラ菌・HIV等の腸管粘膜感染防御に関する研究	清野 宏	東京大学	ガーナ	6年間 (1年延長)
	公衆衛生上問題となっているウイルス感染症の把握と実験室診断法の確立	安田 二郎	長崎大学	ガボン	6年間 (1年延長)

➤ プロジェクト例(追跡評価報告書より抜粋)

アフリカサヘル地域の持続可能な水・衛生システム開発(実施期間:2010年4月~2015年3月)

■概要および研究成果

- 人間の排泄物と生活排水を「集めない」、「混ぜない」ことを基本コンセプトに、サヘル地域の都市地域に適合した水・衛生システムのうち、雑排水関連モデル(トイレ及びコンポスト化装置)の開発、新たな水・衛生システムを導入するための社会システムを提案。
- 多様な経済レベルに対応する糞便のコンポスト化技術や尿利用技術、雑排水再生技術、回収資源の農業利用技術を開発。

■プロジェクト終了後の展開

- ブルキナファソ側の若手研究者が、**民間・地域レベルでサニテーションの価値を広めるための活動を地道に継続**している。
- 相手側実施機関が、**世界銀行の支援を受け**、西アフリカ地域の水と衛生、農業、環境分野の**人材育成**を行う。
- 実施主体として期待される地方自治体の**財政的・人的資源が圧倒的に不足**。
- プロジェクトで開発したトイレを製造することができる**事業者が見つからなかった**。

氷河減少に対する水資源管理適応策モデルの開発(実施期間:2010年4月~2015年3月)

■概要および研究成果

- ボリビアにおける気候変動に対する水資源管理適応策の立案に資するため、流域の水文・**気象**を継続的にモニタリングする観測網の構築、氷河融解・流出・土砂異動・水質変化の解析モデルを統合した、水資源管理モデルの開発、氷河縮退・消失とそれに伴う水資源調整を行い、政府機関に提示。

■プロジェクト終了後の展開

- **科研費などで研究が継続**されている。また、本プロジェクトに参画したボリビア人研究者が水資源の課題で活躍しており、人材育成の観点からも一定の成果。
- 大学及び環境・水資源省が連携して、ボリビア水資源プラットフォームを構築することが社会実装の目標の一つだったが、**十分に構築されていない**。

短期気候変動励起起源地域における陸域観測網最適化と高精度降雨予測(実施期間:2010年4月~2014年3月)

■概要および研究成果

- 海洋起源の経年・季節内変動(エルニーニョ等)、大陸起源のモンスーン、現地島嶼上で生み出される日変化を観測し、赤道熱帯域の気候・気象予測指針を確立。
- 気候・気象予測の指針をインドネシア政府に提言。この地域の観測を維持し成果を世界に発信することで、インドネシアを全地球観測システム(GEOSS)の有力な推進国とし、全世界の気候変動影響適応・緩和に貢献。

■プロジェクト終了後の展開

- プロジェクトによって**相手国に設立された海大陸最先端研究拠点(MCCOE)が、組織形態を変えつつ、より充実した形で継続・活動**。
- 供与した機材の多くは**プロジェクト終了後もインドネシア側が独自予算で更新**して継続的な観測が可能。
- **研究代表者が現地に長期滞在**し、マネジメントに精力的に取り組むことで信頼関係を強固にした。

インドにおける低炭素技術の適用促進に関する研究(実施期間:2010年5月~2014年3月)

■概要および研究成果

- 日印の環境シンクタンク(IGES、TERI)を中心としたプロジェクトで、インドの中小企業を主な対象に、我が国から移転・普及すべき技術及びその移転・普及のために必要な技術改良点、施策・方策(移転の障害の克服)等を提言。
- 具体的には、電気ヒートポンプ(EHP)、ガスヒートポンプ(GHP)などを選定。工場に設備を供与し、1年程度の運転を通じて省エネ効果を実測。促進策の提言とそれらを元にした国際連携型デマンドサイドマネジメントモデルを開発

■プロジェクト終了後の展開

- **プロジェクト終了後も相手国との実効性の高い交流**がさらに一層強化されて継続している(IGES、TERI)。
- **協力体制が整っている**ことから、今後も継続的に成果が上がっていくことが期待できる。
- 日印ともに**大学などのアカデミアの参加が不十分**で、学術研究としては成果発表に物足りなさが残る。

派遣対象者	個人支援	組織支援
<p>学部生 大学院生</p>	<p>国際青少年サイエンス交流事業 (JST) 海外の優秀な科学技術イノベーション人材の獲得に資するため、海外の青少年との科学技術交流プログラムを実施</p> <p>優秀な外国人留学生の戦略的な受入れ (文科省) 海外での日本留学の魅力発信を強化するとともに、外国人留学生の国内就職に資する取組等を支援する等により、優秀な外国人留学生の我が国への受入れを促進</p> <p>大学等の留学生交流の支援等 (文科省) 日本人留学生の倍増を目指すため、「トビタテ! 留学JAPAN」の活動を推進や、学位取得目的の長期留学支援等により、意欲と能力のある若者の海外留学を支援</p> <p>若手研究者海外挑戦プログラム (JSPS) 将来国際的な活躍が期待できる博士後期課程学生等を育成するため短期間(3か月~1年)の海外の研究者と共同して研究に従事する機会を提供</p>	<p>スーパーグローバル大学創成支援事業 (文科省) 我が国の高等教育の国際競争力の向上とグローバル人材の育成を図るため、国際化を徹底して進める大学を支援</p> <p>大学の世界展開力強化事業 (文科省) 大学教育のグローバル展開力の強化を図るため、我が国にとって戦略的に重要な国・地域の大学との間で、質保証を伴った学生交流等を推進する国際教育連携やネットワーク形成の取組を支援</p>
<p>ポストク 研究者</p>	<p>外国人研究者招へい事業 (JSPS) (※外国人特別研究員を含む) 海外から優秀な人材を我が国に呼び込むため、分野や国籍を問わず優秀な外国人研究者を大学・研究機関等に招へい</p> <p>海外特別研究員事業 (JSPS) 優れた若手研究者が海外の大学等 研究機関において長期間(2年間)研究に専念できるよう支援</p> <p>国際競争力強化研究員事業 (JSPS) 若手研究者の世界トップクラスの大学等における挑戦的な研究や、国際的なネットワーク形成を支援</p>	